

第1ドリーム保育園便り

楽しい絵本の世界(0・1歳児)

～心が豊かに育まれる読み聞かせ～

子どもたちは絵本が大好きです。「えほん、みよっか」と語りかけると、すぐに畳の所に集まってきてくれます。ひよこ組さんは、絵本が始まるとお座りやうつぶせやいろいろな姿勢からぐっと絵本の方に体ごと向けて読んでいる大人の口元や表情を見つめたり、絵を見つめたり、絵が気に入り、手を伸ばす姿もあります。

りす組さんは、お気に入りの絵本があり、その絵本を読むとより一層目が輝きます。そして、一気にぐーっと見入っています。“心配するところ”では、心配そうな表情になり、“うれしいところ”では、ニコッと笑ったり、その絵本に入り込んでいる子どもたちです。

絵本には「絵」があり、そして読み聞かせする身近な大人から生の声で「ことば(物語)」を聞いて『絵本の世界』へ入っていきます。0歳から読み聞かせを続ける中、1歳半頃からは、絵を見ながら耳に入ってくる「言葉」でお話(内容)を理解し、面白がったり、びっくりしたり、と絵本を楽しみ始めます。

絵本を読んでもらうことは、大好きな大人と絵本を介して「楽しい」を共感する体験であり、しゃべり始める子どもたちにとって、『言葉の獲得』にもつながり、そして、『物事理解やつながりを感じ取る力』も育まれていく大切なものです。

肌のぬくもりを感じながら、大好きなお父さん、お母さんの声で届く絵本の時間が、幸せ体験となっていくと思います。ぜひ、ご家庭でも親子で読み聞かせの時間をつくっていただけたらと思います。



梅雨の時期を感じてお散歩

～雨の日の発見～

じめじめと蒸し暑い梅雨の季節になりました。雨が降り、なかなか外で思い切り遊べない時期ですが、この時期ならではの楽しみや発見があります。

雨の水を五感で感じる

たくさん雨が降り続いた次の日。そう組さんで「昨日降った雨はどこにいったんだろう」と話しました。子どもたちから「水たまりになった」「土や畑に流れついたんじゃないか」という声。それじゃあ、実際に確かめてみよう!と外に見にいってみました。

側溝を流れていく水や道路を流れている水に気付いた子が、水の音や流れをみて、「こっちだ!!」と進んでいきました。水がたまっている所は枯れ葉があるから、と気付いて、枯れ葉を動かしてみると、たまっていた水が流れていきました。水を触って「つめたい!」「氷みたいな水だね」と子どもたち。水の音や、流れを見て、触れて、五感で雨を感じました。自分たちで雨がどこに行ったか見てみることで、水たまりだけでなく、側溝を流れて川や海へ流れているんだということに気付いた子もいました。



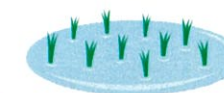
雨の日の花(あじさい)を見つけて

雨上がりのお散歩に出かけた別の日には、水たまりや水の流れを見つけたり、途中でぽつぽつと降ってくる雨に、「雨はどこから降ってくる?」「雨の色は何色かなあ」と見ていました。水たまりの中をパチャパチャと雨靴で進みながら、今度はあじさいの花を発見。きれいなあじさいを見て、あじさいの花びらが何枚あるのかな、と聞いてみると、子どもたちは「1、2、3…」と数え、「4枚ある!!」と気付きました。4枚の花びらが合わさって、それが何個あるのかなと、またその数を「1、2、3…」と夢中で数えていて観察している子どもたちでした。



田んぼの水源地探し

～体験を通して主体的に学ぶ子ども～



6月の始めに、親子で田植えを体験したきりん組さん。田植えをした次の週に、お米の苗の様子を見にいきました。「プカプカ浮いていないね」「大丈夫だね」と苗が流れずにしっかりと浮いている様子を見て、子どもたちも一安心。

田んぼへ行って気付いたこと

実際に田んぼに行き、田んぼの様子を見ると、用水路からたくさんの水が流れてくるのを見て、「水はどこから流れてくるの?」というギモンが子どもたちから出てきました。そして段差がある2面の田んぼなので、上から下に流れてくる水や、道路を流れていく水の流れに気付いた子どもたち。でも、上の方の田んぼには水が流れ入ってきていないのを見て、一体どこから水がきているのか、と田んぼのあぜ道をぐるぐると探し回りました。でも、結局上の田んぼの水の入り口が分からず、明日も探しに行こう!!ということになりました。

田んぼの水はどこから?!

次の日も田んぼへ行きました。昨日は流れていた水が、この日は流れておらず、田んぼにも水もたまっていませんでした。「お水が流れてない!!」「これじゃあお米が大きくなるよ」と子どもたちから心配の声も出てきました。しばらくして、上の方の田んぼから水が流れて来ました。園長が来て、水路から水を流してくれたことで、「あ!!ここから水が流れてくるんだ!!」と昨日見つけられなかった田んぼの水の入り口を見つけることができました。でも、その水は一体どこから流れてきているんだろう・・・というギモンも新たに生まれました。

田んぼにつながる水源地探し

前日に生まれた新たなギモンを探りに田んぼへ。まずは、上の田んぼの水の入り口を見て、一番近くの水路から流れていることを発見。そこから、水路を登っていき、どこまでつながっているか探検へ。途中、側溝を見ると、たまっている水と流れている水があることにも気づきました。また歩いていくと、今度は2つにトンネルのように分かれているところがありました。「ここでお水が分かれているね!」と気づき、一つは道路の下を通過して道路を渡った方へ流れていました。この日は、子どもたちがよく遊びに行っている北辰神社の近くまでを水源地探しに進んでいきました。まだまだ、水源地探し継続中。田んぼにつながる水源地はどこなのでしょう。

小学校4年生の社会科の教科書の単元の中に、「水はどこから」という内容があります。この体験が忘れられない生きた知識となり、学習へ結びついていくのだと思います。



学びに向かう力

～フレーベル館保育セミナー 職員研修より～



私たちドリーム職員が毎月受けているオンラインセミナーより、「主体的・対話的で深い学び」が今の乳幼児教育では大事だと述べられていました。2017年度に保育・教育のガイドラインが改訂され、幼児期に育みたい3つの柱として、以下の内容が示されました。

～幼児期に育みたい3つの資質・能力～

- 1 知識・技能・・・気付くこと、できるようになること
- 2 思考力・判断力・表現力等・・・考えたり、試したり、工夫すること
- 3 学びに向かう力・人間性・・・粘り強く頑張ること

そして、この資質・能力の根底には、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」があります。

～幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿～

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

これらの10の姿は、年長になって初めて現れるのではなく、0歳児からの普段の生活や遊びを通して現れてくるものです。たとえば、言葉は、安心感の中で、信頼できる相手がいる、自分の好きな物を伝えたいという気持ちから自然に言葉を学んでいきます。遊びを通して、言葉で伝えたり、工夫して作ったり、順番を待ったりすることを経験します。また、ルール遊びの中でルールを守ること、ルールを守らないと楽しくあそべないことを学んでいくのです。

「文字を書けるようにならなければいけない」「読み書きを少しでも覚えさせたい」「数を覚えさせないといけない」など、就学を前に焦ったり、できるようにと願ったりするかもしれません。それが小学校での授業をスムーズにしたり、劣等感を感じたりしないようにと、子どものためを思っている親心なのだと思います。

ドリームでは、数の概念や文字は、生活や遊びの中での子どもの感動や発見などに共感し働きかけることによって自然と学びになる、ということを大切に保育しています。日々の遊びや、友達とのトラブル、関わり、協力など、生活の中で育つ目に見えない力（非認知能力）が育ち、その力は学びに向かう力となり、その後の学習態度や意欲へとつながっていきます。たとえば、文字も一つ一つをしっかりとおぼえなさい、と教えるのではなく、人との関わりの中で、これを伝えたい、お友達にお手紙を書いてみたい、という気持ちが自然と生まれてくる中でやりたいから、文字を知りたいにつながっていくのです。こうした子どもの好奇心や意欲、興味に近くにいる大人と一緒に興味をもち、喜んでいくことが大切なのです。子どもの好奇心を大事に、「なんでだろう」「どうしてだろう」を一緒に考えて私たちは保育し、保護者の皆さんにもそのような子育てを楽しんでいただきたいです。

【認知的能力と非認知的能力】

認知的能力とは、読み書きや算数などIQなどではかれる能力のことです。非認知的能力とは、IQでは、はかれない力で「協調性」や「自立心」「目標に向かって頑張る力」「人と上手に関わる力」「感情のコントロール力」などです。

大事なことは、うまくいかないときに諦めず「どうしてかな」「こうやってみよう」「これがダメなら、ああやってみよう」など、あくまで目標の達成まで頑張る姿勢を身につけること。我慢できること、感情をコントロールする力なども大事です。

時には大人がサポートすることも大切です。例えば、こどもがどうしたらよいか困っている時に「こうしたらどう？」と助言することで、頑張ろうとする気持ちが続き、「頑張ればできるんだ」ということが次第にわかってきます。このような経験の積み重ねが大事です。

～フレーベル館 オンラインセミナーより～